

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年2月5日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年2月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【地下水ドレンポンド(E)水位計指示不良について】 地下水ドレンポンド※(E)フロート式水位計の指示が動かなくなった。 なお、本水位計の故障により水位指示は確認できないが、汲み上げ用ポンプは運転継続可能。</p> <p>※地下水ドレンポンドとは、旧護岸と海側遮水壁の間の埋め立てた部分に地下水を貯めることが出来るようにした場所のことで、5箇所の地下水ドレンポンドから地下水を汲み上げられるようになっている。</p>	GⅢ